

アナログ電子回路の講義の進め方

2010 4/12 松澤 昭, 岡田健一

講義計画予定(進行に応じて変更する場合があります):

- 4/12 導入と半導体デバイス(基礎・ダイオード・バイポーラトランジスタ) 【1章、3章、4章】
- 4/19 バイポーラトランジスタの残りとMOS トランジスタ 【4章】 (岡田先生の教室:S222 に集合のこと)
- 4/26 基本増幅回路とトランジスタのバイアス 【5章】
- 5/10 小信号等価回路 【5章】
- 5/17 各種接地方式 【5章】
- 5/24 周波数特性 【6章】
- 5/31 特性変動・バラツキ・雑音 【7章】
- 6/7 カレントミラーとバイアス回路 【8章】
- 6/14 中間試験(予定)
- 6/21 差動増幅回路 【9章】
- 6/28 負帰還回路技術 【10章】
- 7/5 演算増幅回路 【11章】
- 7/12 CMOS 演算増幅器の設計 【12章】
- 7/22 発振回路(木曜日) 【13章】
- 7/26 A/D・D/A 変換器(資料を配布する)
- 8/2 期末試験(予定)

※上記講義予定に付記されている章は、テキストの章に対応する。

テキスト:「基礎電子回路工学～アナログ回路を中心～」(松澤 昭 著、電気学会)ISBN 9784886862761を使用。

なお、2章の電気回路解析の基礎は既に学んだことなので、直接講義はしないが、復習のために良く読んでおくこと。

宿題と演習: 講義の終わりに演習問題を出す。教員やTA に聞いても良い。これを宿題とするので、次回の講義に持参すること。講義の初めに解説をする。解説が終わったら提出すること。宿題の答案に解説を書き込んでもよい。この宿題の提出をもって出席点とする。処理の終わった答案は次回講義の最初に返却する。

成績評価: 中間試験40%、期末試験40%、出席点20%として評価する。

その他: 授業にはノート、筆記用具、関数電卓を持参すること。

できるだけ前の方に着席をし、私語を慎むこと。